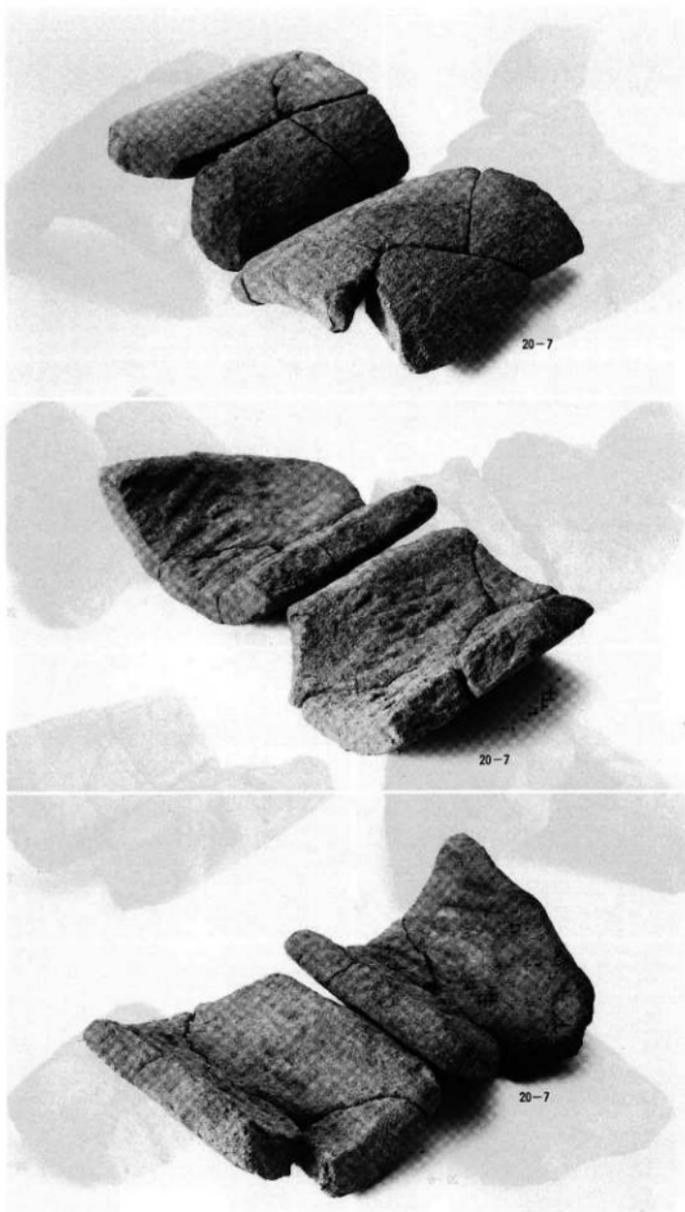
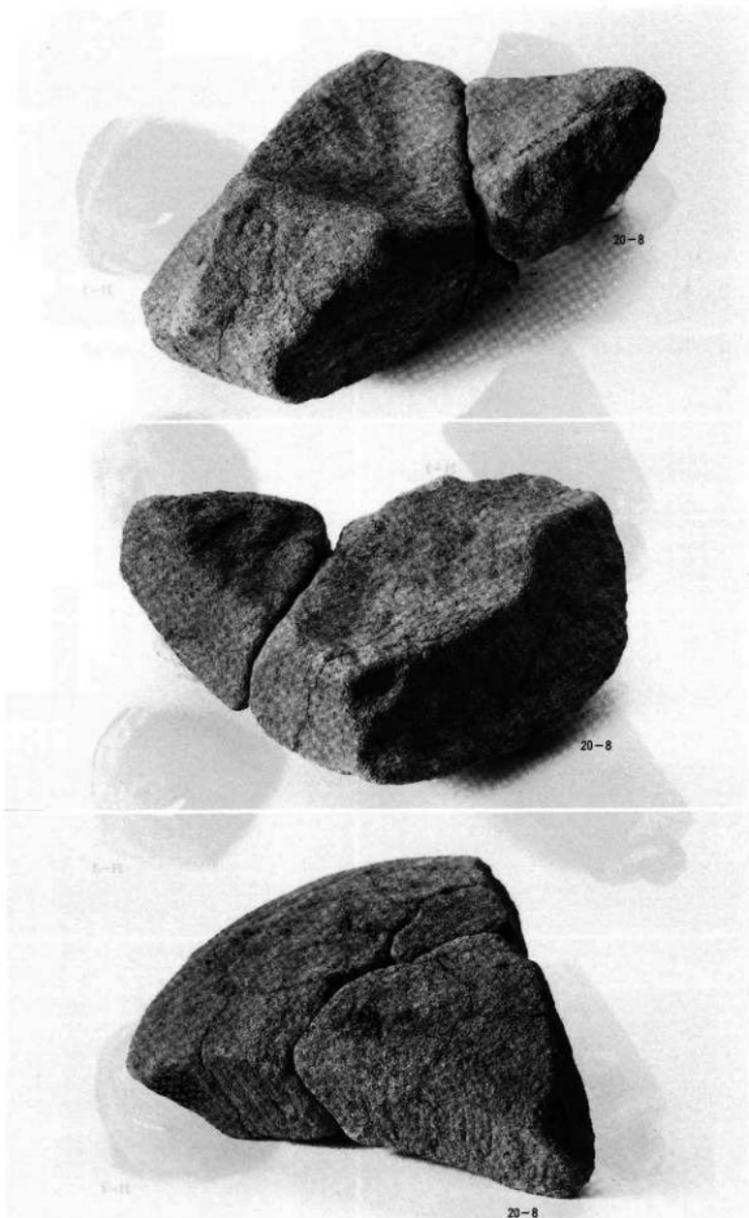




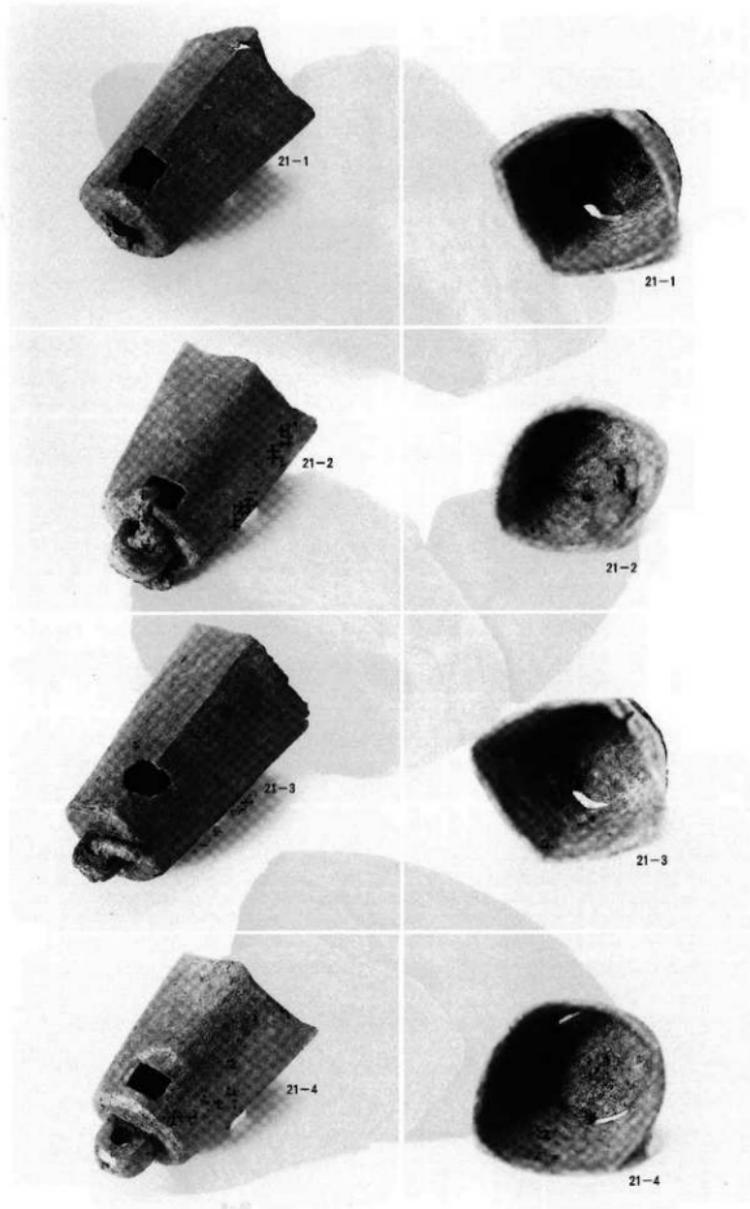
第3基壇出土石製擗管



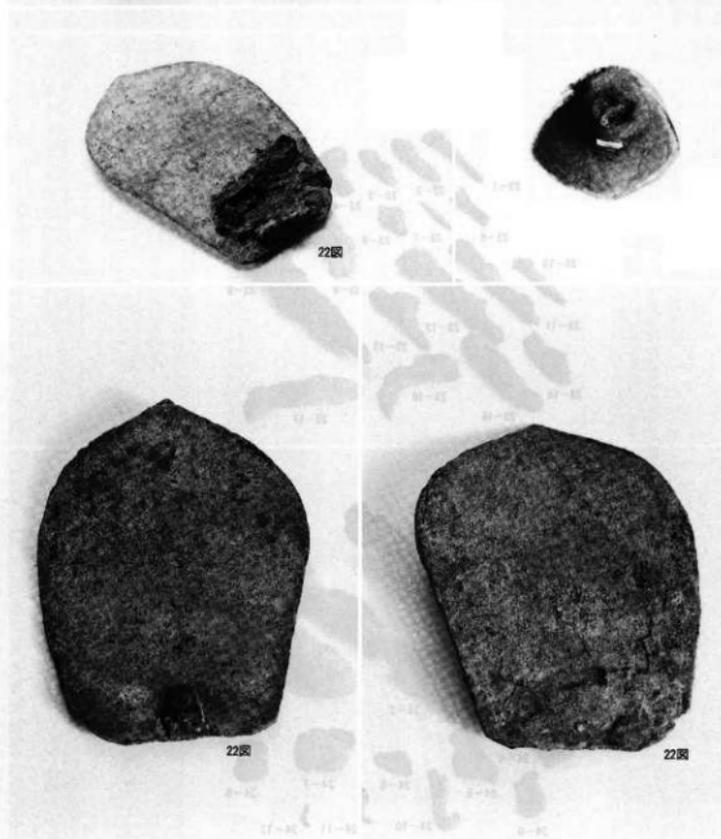
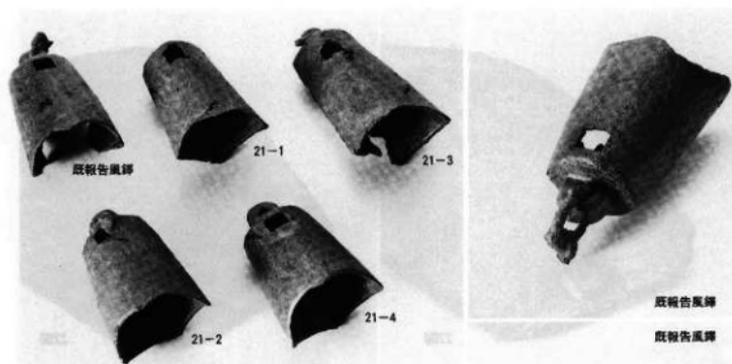
第3基壇出土石製擦管



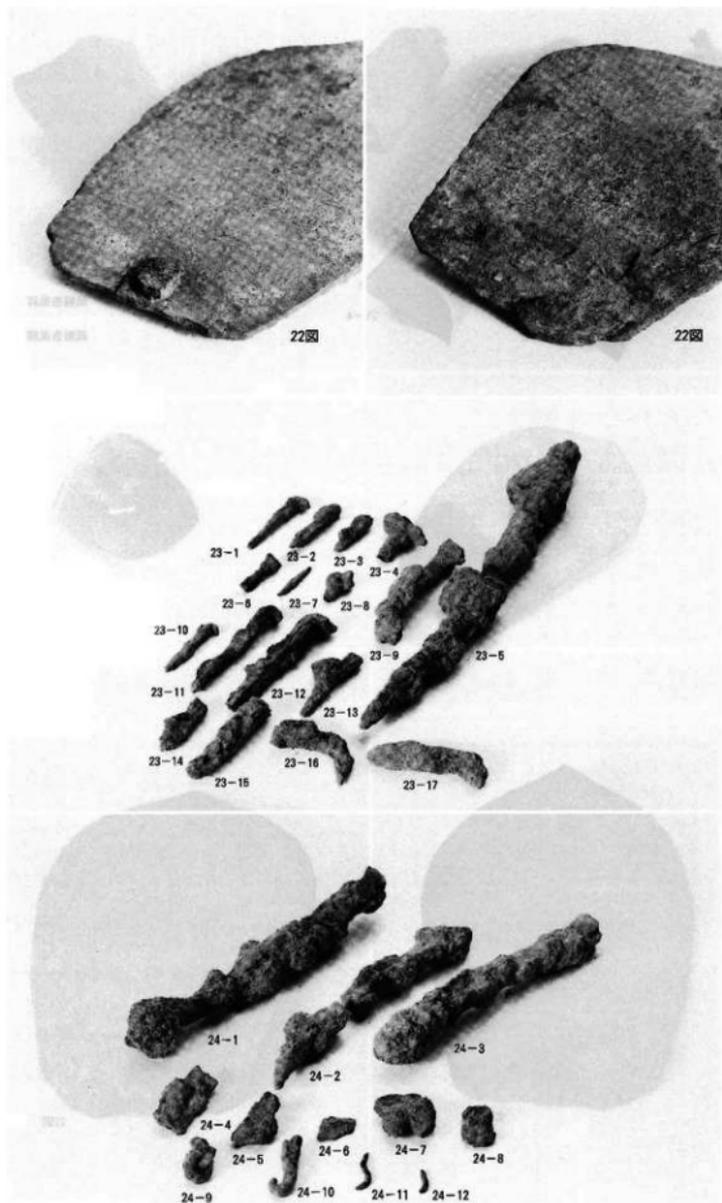
第3基壇出土石製伏鉢



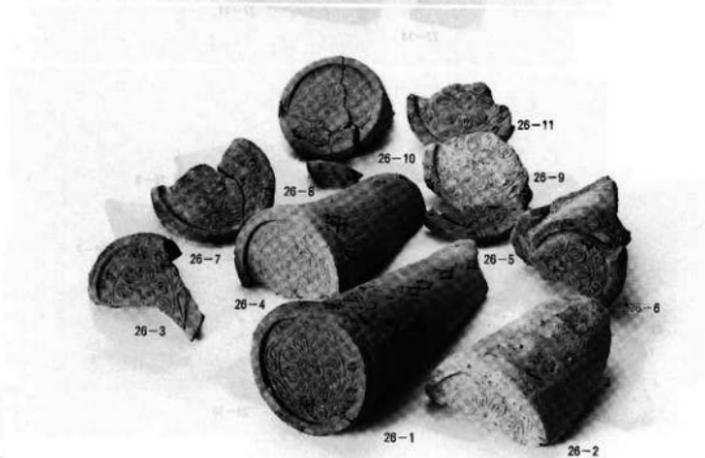
第3基壇出土風鐸



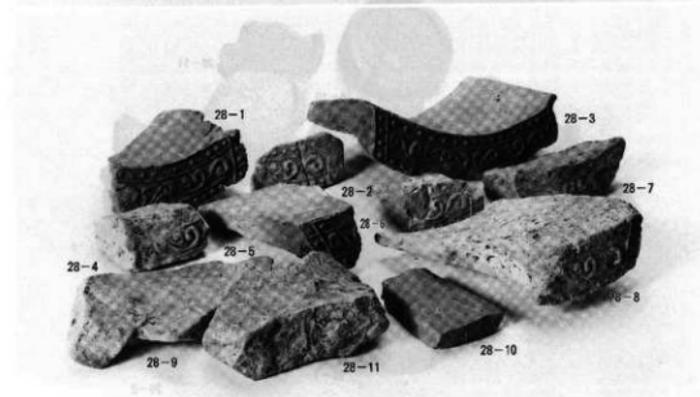
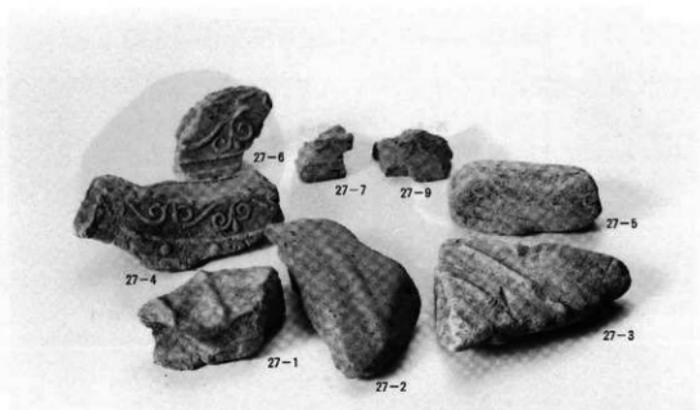
第3基壇出土風鐸、蓮弁狀銅製品



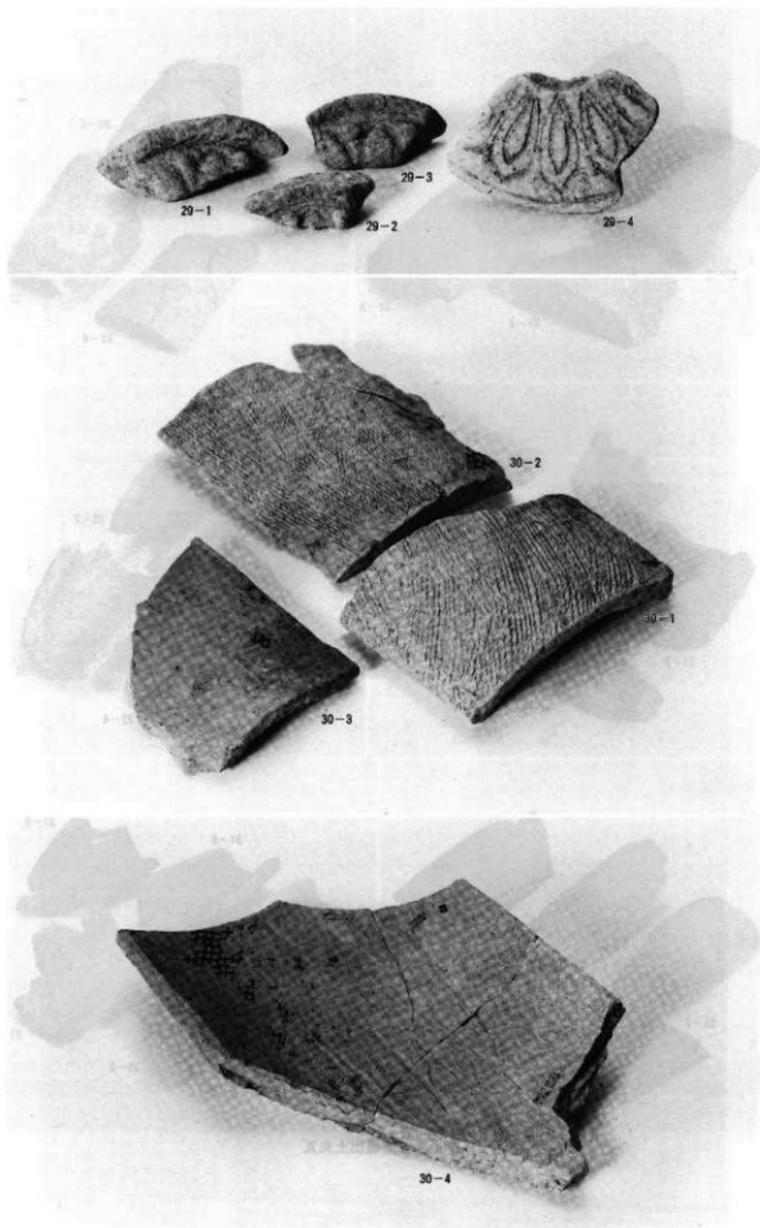
第3基壇出土蓮井状銅製品、第1・3基壇出土鉄・銅製品



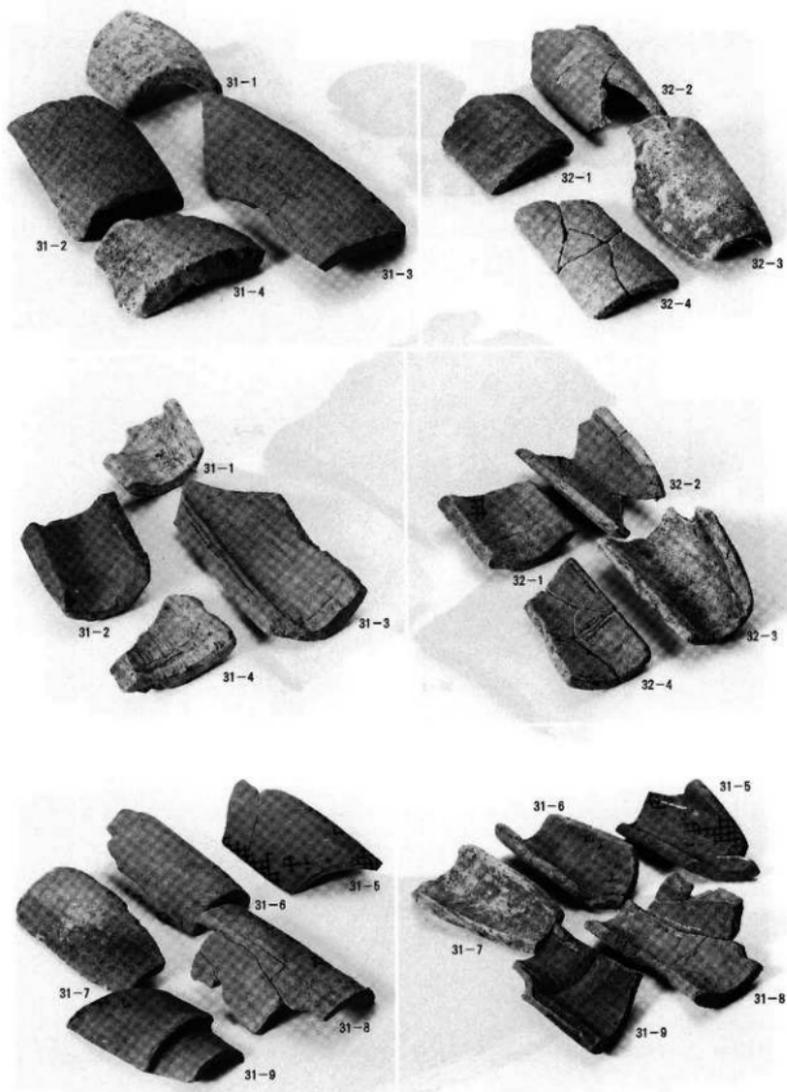
第1・3基壇出土軒丸瓦



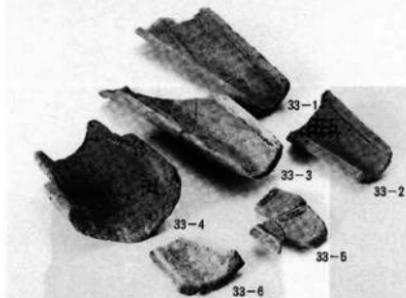
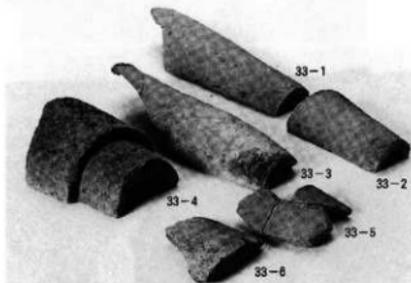
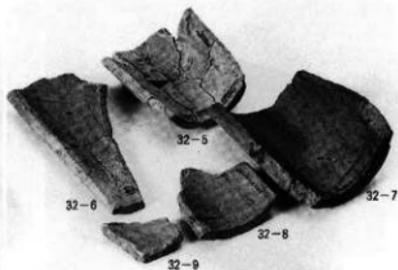
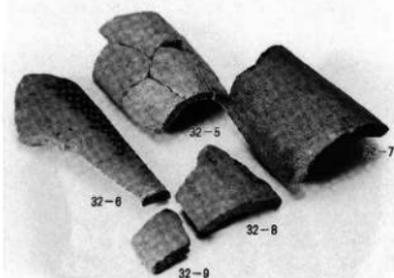
第1·3基壇出土軒平瓦



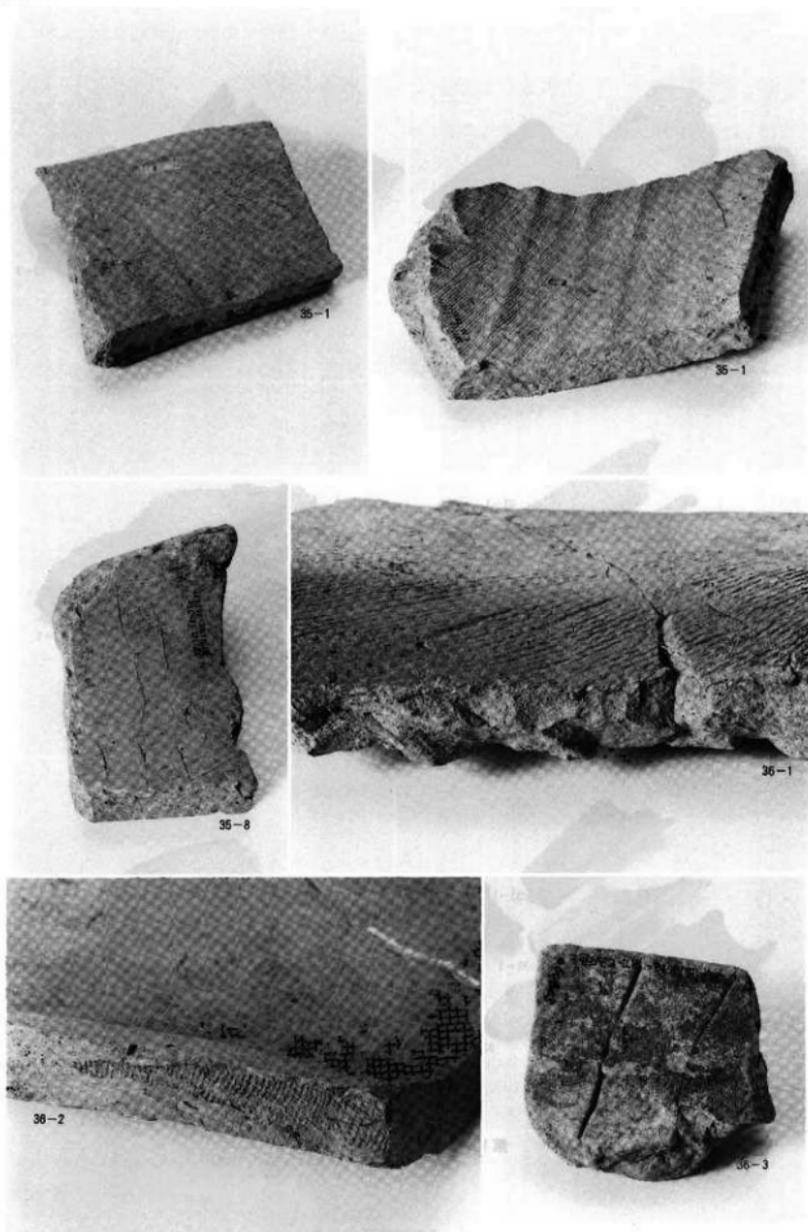
第1・3基壇出土軒丸瓦、軒平瓦、割切り瓦



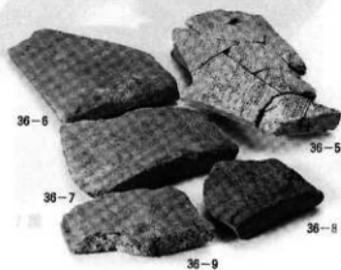
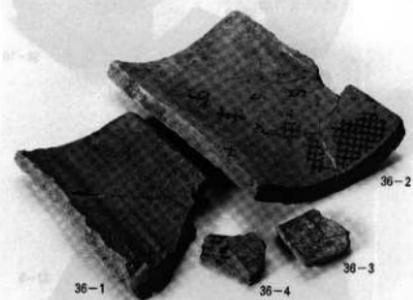
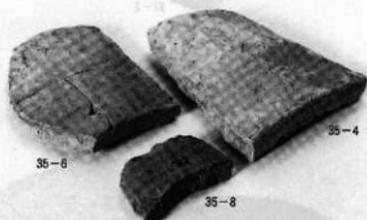
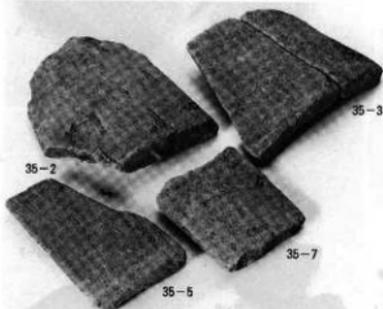
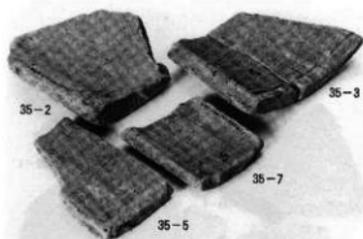
第1・3基壇出土丸瓦



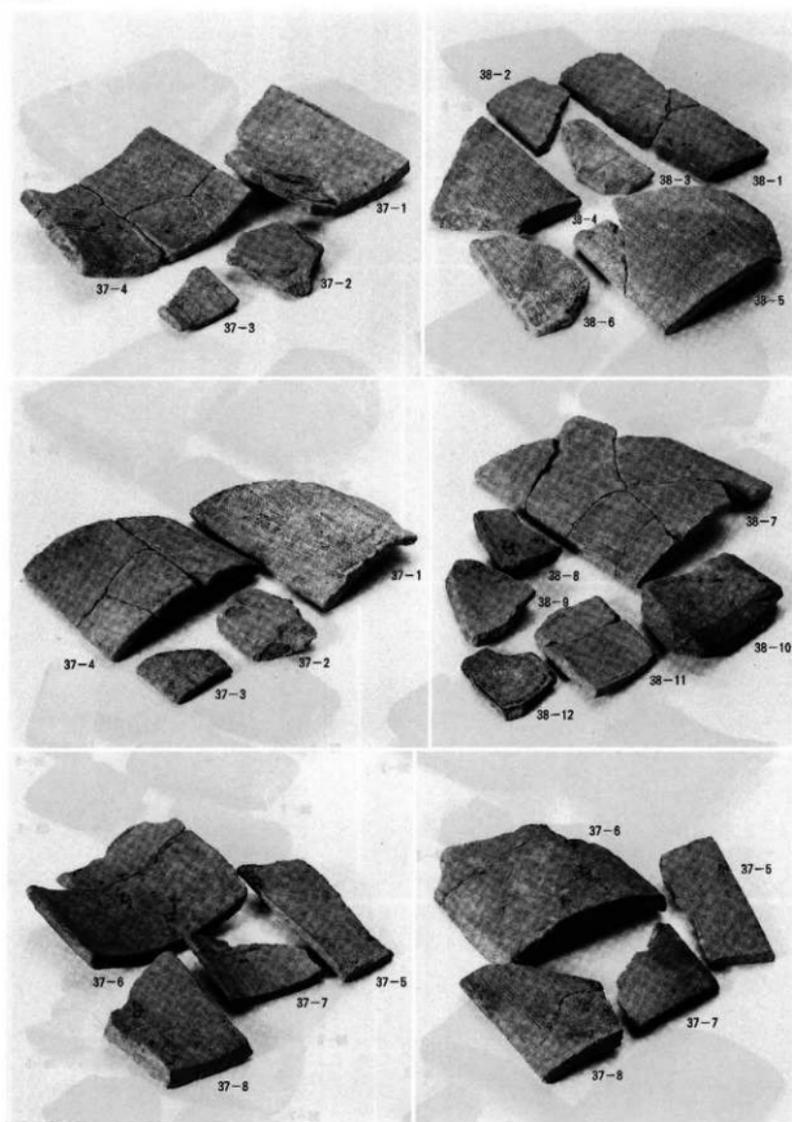
第1·3基壇出土丸瓦・平瓦



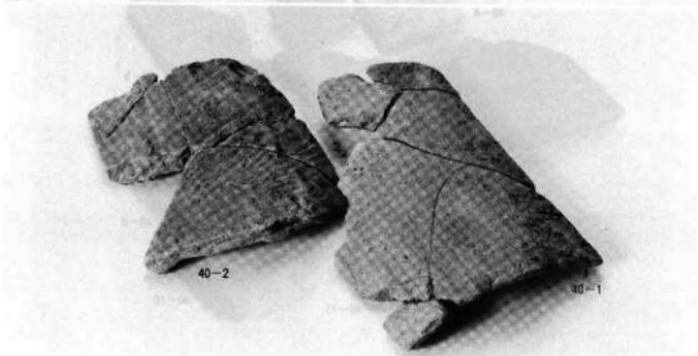
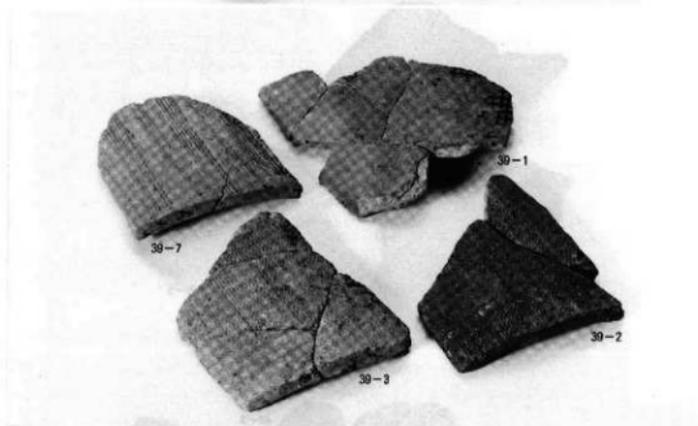
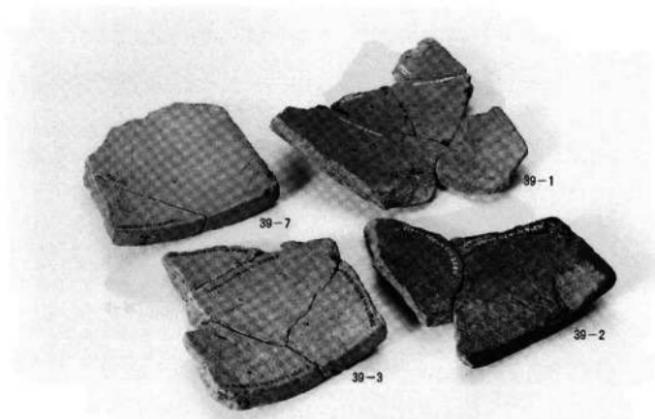
第1·3基址出土平瓦



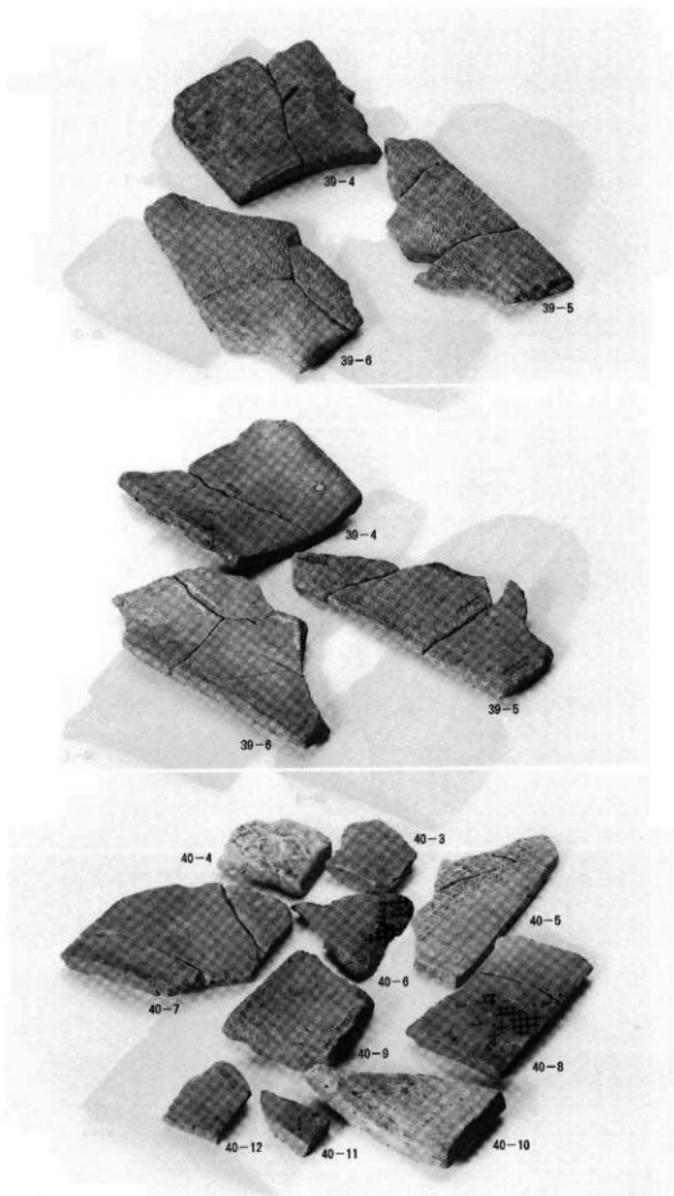
第1·3基壇出土平瓦



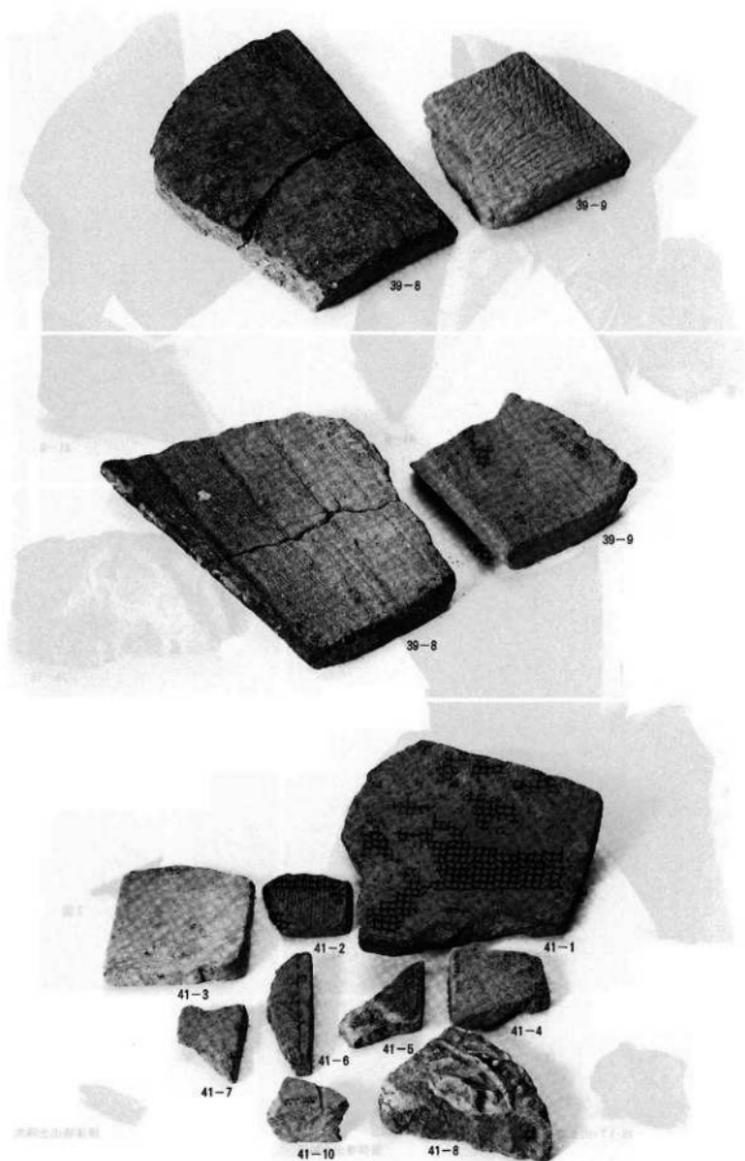
第1·3基壇出土平瓦



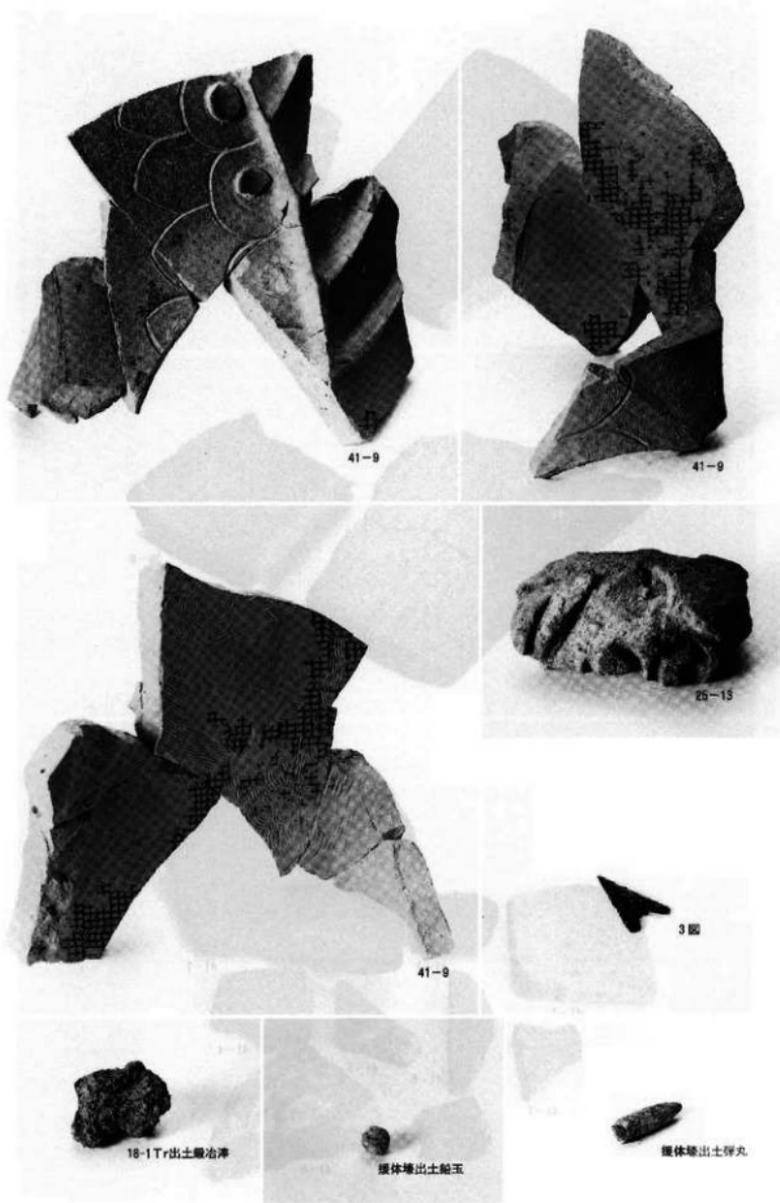
第1·3基壇出土平瓦



第1・3基壇出土平瓦



第1・3基壇出土平瓦、面戸瓦・製斗瓦・鬼瓦・騎尾



鹫尾、第1・3基壇出土軒丸瓦、山代郷北新造院跡採取石鏃、  
18-3 Tr出土鐵冶滓、環体壇出土鉛玉、環体壇出土彈丸

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	しせきやましろごうきたしんぞういんあと						
書名	史跡山代郷北新造院跡						
副書名	出雲国山代郷遺跡群北新造院跡（来美廃寺）発掘調査報告書						
シリーズ名							
シリーズ番号							
編著者名	林 健亮 ・ 東森 晋						
編集機関	島根県教育庁文化財課 URL: <a href="http://www.pref.shimane.lg.jp/bunkazai/">http://www.pref.shimane.lg.jp/bunkazai/</a>						
編集機関の所在地	〒690-8502 島根県松江市殿町1番地 TEL0852-22-5880 (代) E-mail:bunkazai@pref.shimane.lg.jp						
発行年月日	2007 (平成19) 年						
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号				
山代郷 北新造院跡	島根県 松江市矢田町	32201	D-231	35° 26' 22"	133° 05' 40"	050722~050823 060620~060901	重要遺跡 内容確認
遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	
山代郷 北新造院跡	寺院跡	奈良時代 平安時代		塔跡		石製相輪・風鐸 鷲尾・瓦類・須恵器・土師器	
要約	『出雲国風土記』記載の山代郷北新造院跡の調査。平成13年度までの発掘調査によっても、性格が明らかでなかった第1・3・4基壇について調査を行った。その結果、第3基壇が塔であったことを確認し、第1基壇も塔、第4基壇を講堂と推定した。山代郷北新造院は金堂の東西に塔を置き、金堂の南西側に講堂を配した、特殊な伽藍配置を取っていたと考えられる。各基壇上の建物は7世紀末頃から9世紀初頭までにかけて順次造営されていった。また、第3基壇からは、全国的にも類例の少ない、石製相輪が出土した。石製相輪は、水煙を欠き、火蓋を持つ特殊な相輪であったと考えられる。						

北緯・東経は日本測地系による。世界測地系：北緯35°26'33" 東経133°05'30"

# 山代郷北新造院跡

出雲国山代郷道跡群北新造院跡(米美庵寺)発掘調査報告書

2007 (平成19) 年 3 月

発行・編集 島根県教育庁文化財課  
〒690-8502 松江市殿町1番地

印刷 株式会社 報光社  
出雲市平田町993番地